

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

宮崎県 五ヶ瀬町

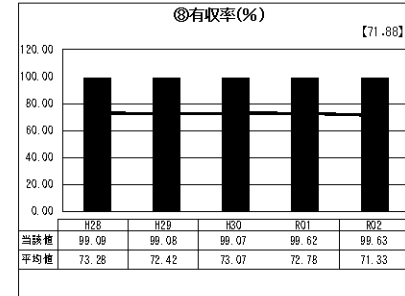
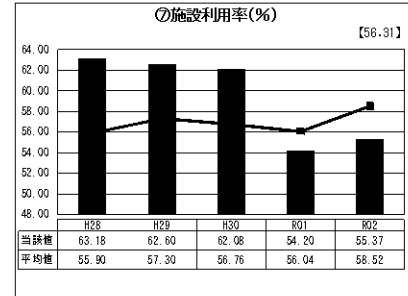
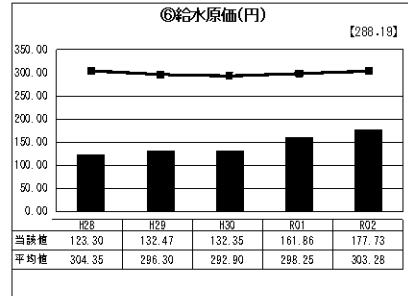
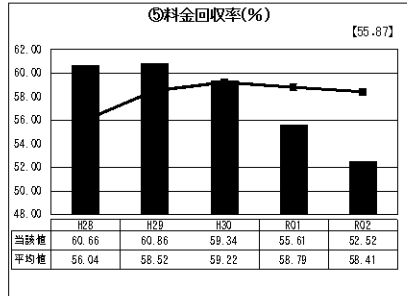
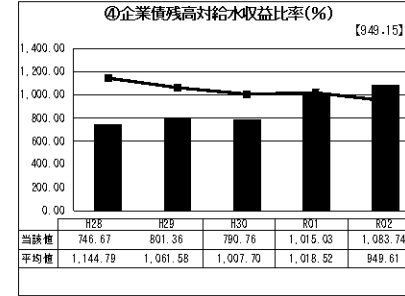
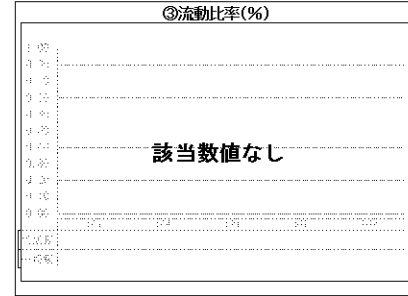
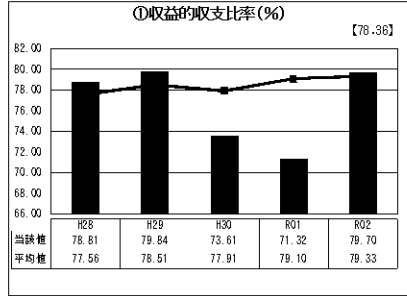
法非通用	水道事業	簡易水道事業	03	非設置
-	該当数値なし	72.24	2,200	

3,723	171.73	21.68
2,607	9.84	264.94

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

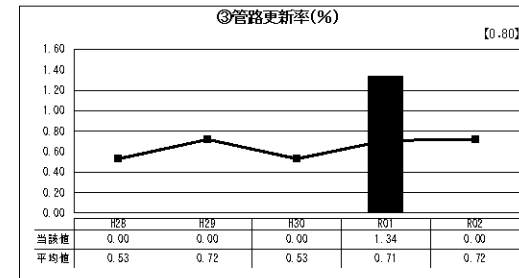
### 1. 経営の健全性・効率性について

本町簡易水道事業は、一般会計・地方債の補填によって賄われている現状にある。収益的収支比率については、昨年度より上がっており、平均値を上回っている。要因として、雑入の増加による総収益の増加が考えられる。企業価値高対給水収益比率については、昨年度より上がっており、要因として、施設新設により地方債現在高が増加したことが考えられる。料金回収率については、昨年度より下がっており、依然として水準は低い。要因として、給水人口の減少による料金収入の減少、施設新設及び更新等による総費用の増加、地方債償還金の増加などが考えられる。施設利用率については、昨年度より上がっており、要因として、給水区域の拡大が考えられる。有収率については平均値を上回っているが、急峻な地形の当該地域特性を考慮すると、広域連携や施設の統廃合等（ハードルが高く、経営改善への第一歩として料金水準の見直しを望ましいと考える。

### 2. 老朽化の状況について

管路は比較的新しく、最も古いもので敷設後20年程である。今後も定期的に管路更新を実施していくことが予想されるが、長期的には管路の更新時期を迎える地区が重複してくるから、漏水の状況等を踏まえて、優先順位を決めるなど計画的な更新を行っていく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

水道普及率7割程度の本町においては、今後も繰入金や地方債に依存する経営状況が続くことが予想される。しかしながら、人口増加が見込めない中では、特別会計、さらには一般会計の財政圧迫が必至となる。財政負担の軽減を図るには、水道料金水準を見直し、計画的な引き上げ等を検討する必要がある。令和3年度内に経営戦略を含めた五ヶ瀬町新水道ビジョンを策定するため、これをもとに、水道料金の改定等を検討していく。